

目標達成計画

作成日: 令和7年5月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		BPSDの傾向が強くみられる御利用者様に対して職員が対応に困ったり戸惑ったり苦慮している場面が多々見られる。	認知症について、学習する機会を設ける。	BPSDの対応について、専門資料を活用しながら職場内研修を行い、学習したことを実践で応用しながら職員間で情報を共有して、職員の対応の自信に繋がる様取り組む。	12ヶ月
2		ひのき嘉久志は高台にあり、災害避難所として認識されている。備蓄品や避難者が何人受け入れできるか明確にする必要がある。	災害避難所としての役割を行政と話し合い、備蓄品等含め、災害時の対応をより明確化し、体制を整えていく。	災害による施設マニュアルの内容を再確認し、備蓄品の確保、避難者の受け入れ人数を明確化して認識していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。